

特集

JSPPOは、なぜ「プレーヤーズセンタード」を提唱するのか

現在、JSPPO（日本スポーツ協会）が推し進める概念が、「プレーヤーを中心に据える「プレーヤーズセンタード」」。すなわち、「プレーヤーを取り巻くアントラージュ（プレーヤーを支援する関係者）自身も、それぞれのWell-being（良好・幸福な状態）をめざしながら、プレーヤーをサポートしていく」という考え方。あらためて問う、プレーヤーズセンタードな指導、その意味とは……。

PART 1 プレーヤーズセンタード推進の理由

プレーヤーズセンタードのことが使われるようになったのは、つい最近のことであるが、ならばその期待、なぜ、にわかになら高まってきたのか。JSPPO公認スポーツ指導者制度改定にも中心となって携わるスポーツ社会学者に聞いた。



解説／松尾哲矢

立教大学コミュニティ福祉学部
スポーツウエルネス学科教授、
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者
育成事業推進プラン戦略会議座長、
本誌編集部会副部長

社会現象としてのスポーツに対して社会的にアプローチし、戦後日本のスポーツ界における《場》の構造変動と文化的再生産を主要研究。日本のスポーツ政策の動向、生涯スポーツシステムの動向などが研究課題。博士（教育学）。主な著書に「アスリートを育てる《場》の社会学」（青弓社）ほか。

求められるのは、全体が高まる「場」

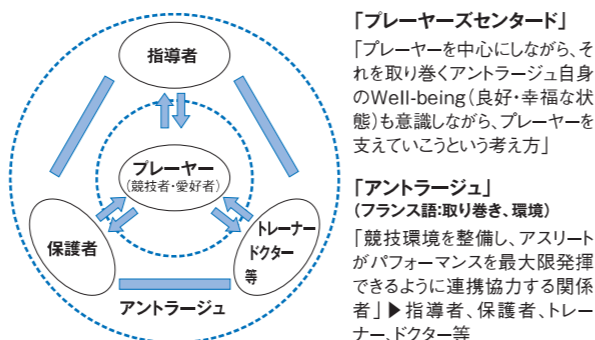
「プレーヤーズセンタード」……それは一見、簡単なことと思われるかもしれませんが、あらためて考えるほど奥深く、いささか大仰に言えばJSPPOの根幹、存在意義にすら関わってくるほどのキーワードです。

あるいは、プレーヤーと指導者がともに高まる……そんなイメージを持たれるかもしれませんが、しかし、突き詰ると事はもっと広い。むしろプレーヤーと指導者の関係も含め、あらためて「場」全体を見直し、そして場に関わるすべての人が高まっていく。すなわち、みんなが高まる場を構築するという、それは、まったく別次元の

話になります。それをひとりで集約したのが「スポーツ宣言日本」(※1)であり、スポーツの価値を社会全体に広げ、日本を変え、その理念を実現する基本的な場のあり方を示すのがプレーヤーズセンタードです。プレーヤーが一番で、それを周囲が支えるというプレーヤーズファーストとは根本的に異なる。プ

レーヤーをセンターに置き、グッドプレーヤーがいて、グッドコーチがいて、グッド保護者も、グッド観戦者も……関わるすべての人と人が織り成す関係の場がいかにあるべきか。審判やメディアを巻き込む必要も当然あり、そして、すべてが高まるポジティブな関係。この考え方が取り入れられたのは、ごく最近で、耳慣れないかも知

■「プレーヤーズセンタード」全体像（松尾、2019）



「プレーヤーズセンタード」
「プレーヤーを中心にしながら、それを取り巻くアントラージュ自身のWell-being（良好・幸福な状態）も意識しながら、プレーヤーを支えていこうという考え方」

「アントラージュ」
（フランス語：取り巻き、環境）
「競技環境を整備し、アスリートがパフォーマンスを最大限発揮できるように連携協力する関係者」▶指導者、保護者、トレーナー、ドクター等

【全体が高まる・成長する】

■スポーツを愛するすべての人へ
～伊藤雅俊JSPO会長メッセージ(2018年7月18日)～

プレーヤーズセンタード
スポーツの主役はプレーヤーです。スポーツ指導者自身の考えを一方向的にプレーヤーに伝えるのではなく、気づきを促し、成長に導いていくコーチングを目指しましょう。

(一部抜粋)

スポーツを愛するすべての人が「場」を形成する当事者として役割を分担しながら、最適なスポーツの「場」を創っていくために行動しましょう。

(一部抜粋)

けた意識はもとより、指導の質を担保する核となる学び、そして質の向上を図れる継続的な学び、世界基準の学びの保障が問われるようになります。そして、2019年度の制度改定(※3)において、学びの核となる「モデル・コア・カリキュラム」と初学の指導者からより専門的な指導者への階梯的な指導者制度の導入に至りました。

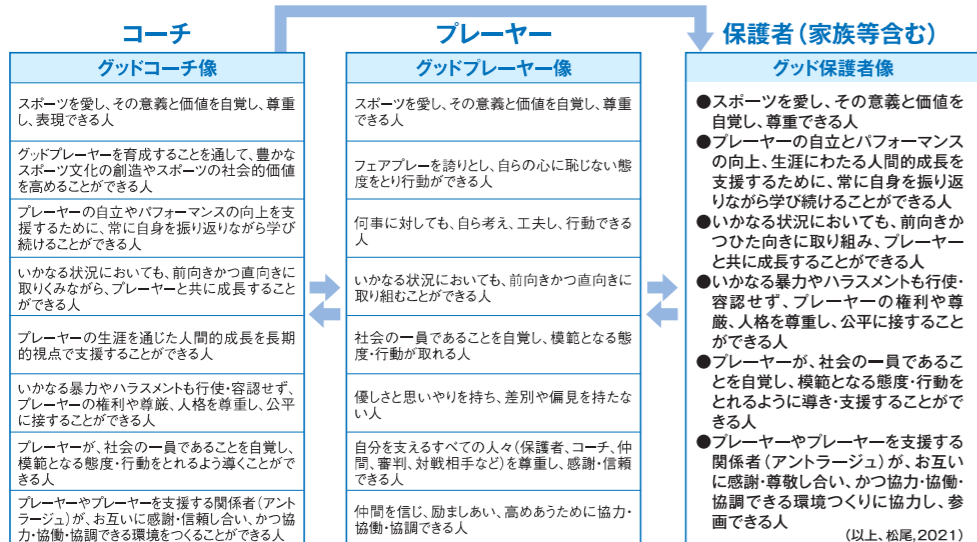
この問いは、指導者にとどまりません。プレーヤーを中心に保護者、ドクターほか、関わる人すべてが学び、高まることでしか暴力の根絶のみならず、スポーツ宣言日本がめざすスポーツの価値で社会を変えることは難しい。本年度、JSPPOがスタート

コーチ(スポーツ少年団)養成を始めた。本資格の受講者のなかには保護者も含まれており、保護者の指導者としての資質の獲得と、グッド保護者の育成が視野に入っているのです。

ポジティブにスパイラル！

さて、上意下達、経験に基づく指導、ともすると徒弟関係的な構図にもあった従前の指導者とプレーヤーの関係に決別し、新しい時代にふさわしいコーチングが指導者に求められるようになる

■「プレーヤーズセンタード」ポジティブスパイラル【好循環 連鎖的な高まり】(松尾、2021)



平成27年度スポーツ庁委託事業
【コーチング・イノベーション推進事業】
平成27年度コーチ育成のための
「モデル・コア・カリキュラム」作成事業報告書
p.35 (公財)日本体育協会

QRコードとリンク情報:
※1 スポーツ宣言日本
※2 会長メッセージ
※3 指導者制度の改定について

■プレーヤーズファーストの本来の意味

プレーヤーズファースト、ウイニングセカンド
(第一義はプレーヤーの成長、勝利は二の次)

数年前、仕事(教師)と生徒、どちらが大切か、という問いが、いつしか後半が欠落。世間でも〇〇ファーストなることばが散見されるように、人の優先順位を比較するようになつてきた。誤解を生むようになつてきました。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

「アスリートファースト」「プレーヤーズファースト」…いずれも横文字ですが、国際的な場面ではあまり見かけません。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

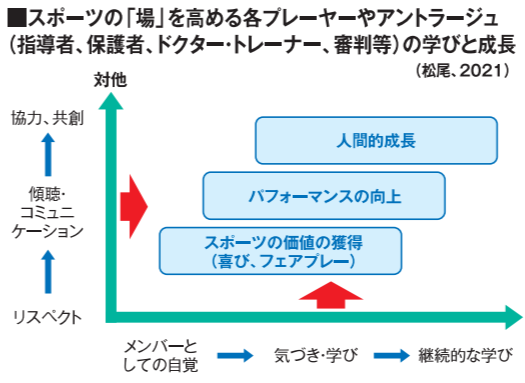
プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

PART 2

「プレーヤーズファースト」と何が違う？
プレーヤーズセンタードがめざすもの



解説 伊藤雅充
日本体育大学体育学部体育学科教授
バイオメカニクス、運動生理学的手法を用いた人の身体運動の基礎的研究、およびパフォーマンス分析はじめ競技力向上を主研究。現在は「効果的なコーチング」「効果的なコーチ教育」に興味を持ち、自然科学的手法は当然、質的分析も併せて研究に取り組む。国際コーチングエクセレンス評議会科学委員会委員。博士(学術)。



プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

プレーヤーズファースト…その根底には、プレーヤーを人間的により成長させるといふ概念があります。

